

電子制御工学実験報告書

実験題目 : オートマトンのプログラミング
報告者 : 3 年 32 番 平田 蓮
提出日 : 2019 年 10 月 29 日
実験日 : 2019 年 10 月 7 日, 10 月 21 日, 10 月 28 日
実験班 : 第 C 班
共同実験者 :

※指導教員記入欄

評価項目	配点	一次チェック ・ ・	二次チェック ・ ・
記載量	20		
図・表・グラフ	20		
見出し, ページ番号, その他体裁	10		
その他の減点	－		
合計	50		

コメント :

1 目的

本実験では、擬似自動販売機回路のプログラムを作成し、プログラミングを通してオートマトンの考え方を理解する。

2 有限オートマトン (Finite Automaton: FA)

オートマトンとは自動機械という意味であるが、工学で用いられる場合は、離散的な入力及び出力を持つ機械のモデルのことであり、状態とその遷移という考え方で捉える。ある装置の動作を実現することを考えた場合に、入出力をまず考えるが、それだけでは動作を実現することはできない。出力を決定する要素として内部状態という考えが必要である。

装置の取り得る内部状態の数が有限個の場合、その装置を有限オートマトンといい、その動作は次の5個の集合と関数で記述できる。

■FAに必要な集合と関数 上で述べた集合と関数を示す。

- X : 入力集合
- Q : 状態集合
- Z : 出力集合
- σ : 状態遷移関数 $\sigma(X, Q) \rightarrow Q$
- ω : 出力関数 $\omega(X, Q) \rightarrow Z$ または $\omega(Q) \rightarrow Z$

2.1 状態遷移図

FAの動作を図で表すには状態遷移図を用いると良い。

例として10円硬貨だけが使える30円切手自動販売機を考える。Cancelボタンを押すと払い戻しとする。

- X : {10[円], Cancel}
- Q : {0[円], 10[円], 20[円]} (初期状態: 0[円])
- Z : {1[枚], 10[円], 20[円]}

このFAの状態遷移図を図1に示す。

図1 30円切手自動販売機

3 練習問題

実験テキストの練習問題の状態遷移図を示す.

(1) 10 円硬貨だけが使用できる 40 円切手自動販売機. Cancel を押すと払い戻し.

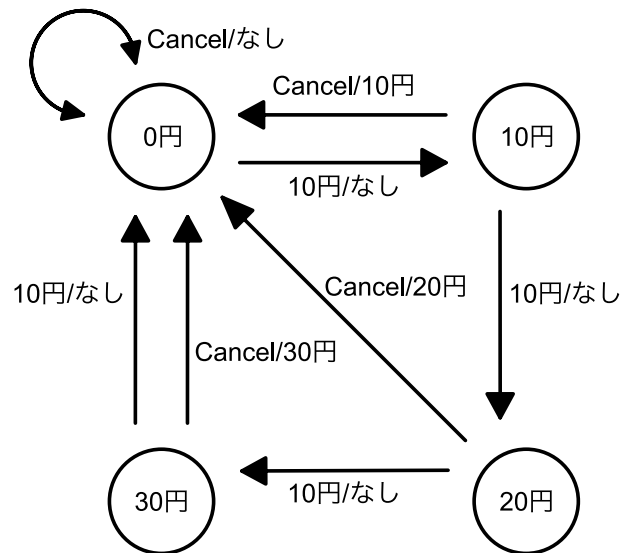


図 2 40 円切手自動販売機

(2) 10 円硬貨と 50 円硬貨だけ使える 30 円切手自動販売機. Cancel を押すと払い戻し. (お釣りは Cancel を押さないと出てこない.)

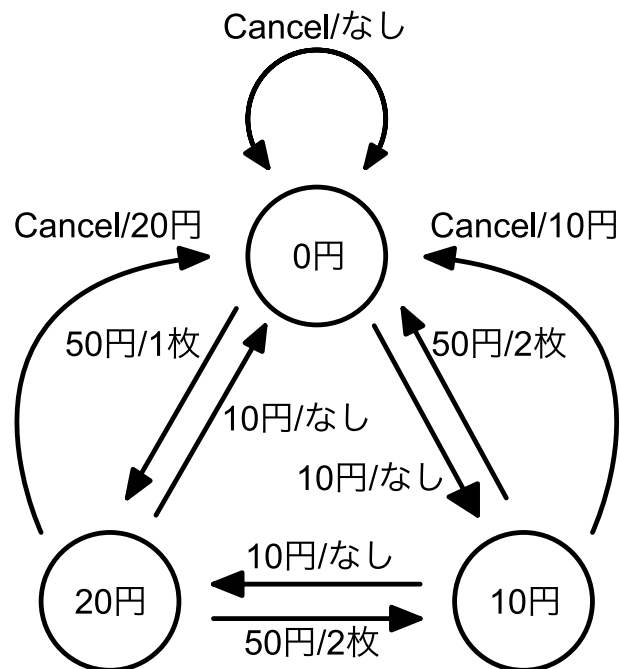


図 3 30 円切手自動販売機

(3) 10 円, 50 円, 100 円硬貨が使える 20 円切手自動販売機. Cancel を押すと払い戻し. (お釣りは Cancel を押さないと出てこない.)

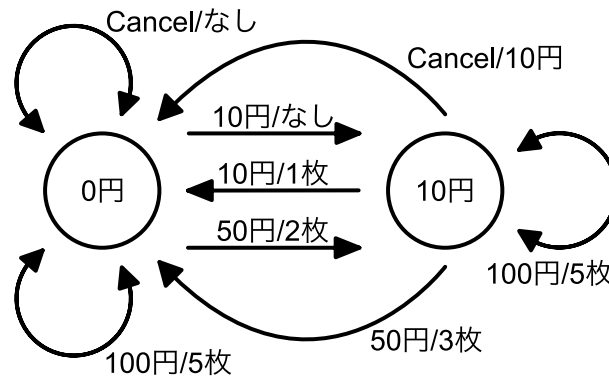


図 4 20 円切手自動販売機

4 仮想自動販売機作成実習

今回は, 10 円と 50 円が使える 20 円切手にした. 10 円入ってるときに 50 円を入れると 60 円になり切手が 3 枚出力されるので, 3 枚目は 100 円のランプを使うこととした. また, Cancel を押すと払い戻しをする.

図 5 に状態遷移図を示す.

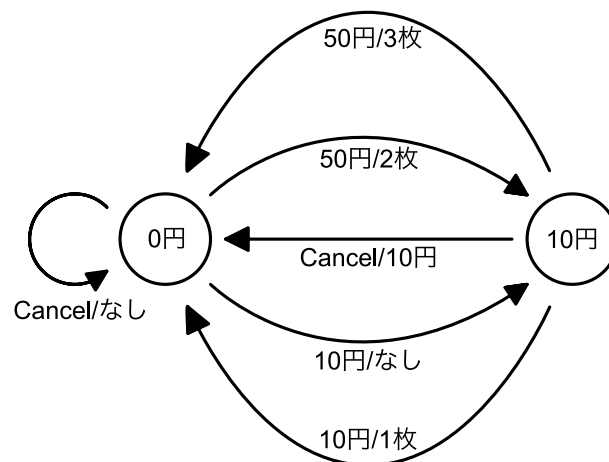


図 5 20 円切手自動販売機状態遷移図

4.1 ソースコード

5 調査課題「ワンチップマイコンについて調査せよ」

6 考察

7 感想

今回の実験では、前期のデジタル論理回路の授業内容が活かされた。また、今まで培ってきたプログラミング能力を駆使して比較的早く課題を終わらすことができた。発展課題には挑戦しなかったので、今後機会があったら調べてみたい。

参考文献

- [1] フォトレジスタ サヌキテックネット <https://sanuki-tech.net/make-electronics/parts/cds-cell/>
- [2] フォトトランジスタの構造と特徴 光センサゼミナール <http://www.kodenshi.co.jp/seminar/vol-02.html/>